

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	世田谷区下馬 5 丁目 32 番 11 号
園名	世田谷区立下馬保育園

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

テラスから広がる、無限の好奇心

<テーマの設定理由>

2 階テラスはこれまで 0.1 歳児が中心に使ってきたが、広さを十分に活かすことができず、自然物や遊具も限られていた。それでも子どもたちは風や光、小さな落ち葉などに気づき、触れてみようとする姿が見られ、この場所に対する興味の芽生えを感じてきた。今後、園庭が使えなくなる時期を見据え、テラスを様々なクラスが楽しめる空間へと整えていく。自然物に触れられる素材や、思わず体を動かしたくなる環境を置くことで、子どもたちが自分なりの遊びを見つけたり、異年齢の関わりが自然に生まれたりする場にしていきたい。

### 2. 活動スケジュール

通年 野菜で遊ぼう  
10月 すのこ、芝生設置  
11月 芝の感触に触れてみよう  
12月 陽だまりでゆったりと過ごそう/冬の日差しの心地よさを感じる  
1月 落ち葉で遊ぼう  
2月 氷に触れてみよう  
3月 陽だまりでゆったりと過ごそう/春の暖かな日差しや風の中でくつろぐ

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

準備物・・・廃棄する野菜の皮やヘタ、ままごと用具  
環境設定・・・テラスの陽だまりが出来るスペースにすのこや芝を置くことで、冬場でも日光浴をしたり長時間ゆっくりと過ごせたりできる環境を整えた。何をして遊んでもよい、子どもがやりたいことを選べる環境を作れるようにした。

## 4. 探究活動の実践

### <活動の内容>

#### ①【私の特等席】



広いテラスで、お茶を飲む際に、子どもは自らすのこの上によこんと座り、手にしたお茶をゆっくりと口に運んでいた。

お茶を飲み終わると、すのこの“フカフカ”“ザラザラ”とした独特の感触を確かめるように、手で触れたり座り直したりしながら、全身で日差しの暖かさを感じている様子があった。戸外ならではの開放感の中で、安心した表情で過ごす姿が印象的で、保育者もその時間を大切に見守った。

すのこの“感触”や“音”に興味を持った子どもたちは、その後、テラスのさまざまな場所に移動しながら、座る位置や向きを変えて感触の違いを確かめていた。また、すのこの隙間に落ちる光や影に気づき、光の変化にも目を向ける姿が見られた。

今回の活動では、子どもが自ら環境に関わり、安心してくつろげる場から、探究の育ちにつながっていった。今後も子どもの興味や感覚を大切にしながら、探究が自然に広がる環境づくりを行っていきたい。

#### ②【手のひらで感じる発見】



人工芝の上に座り込み「これなにかな？」と探索するように野菜の色や形を一つ一つ確認しながら、集中して遊び込んでいる。子どもの探究心や好奇心を大切にしながら、見守ったり「にんじんだね、匂いがするね」「触ったら、どんな感じかな」と共感の言葉かけをしながら、やり取りを楽しむ。野菜の皮を触ったり匂いをかいだりする中で、子どもは「こっちは固い」「これはぬるぬるしてる」「色がちがう」など、違いに気づき始めた。

今回の活動では、子どもが自然や素材に自ら触れ、五感を使って探究する姿が見られた。保育者の問いかけが、子どもの気づきを深めていった。

今後も、子どもの「なんだろう」「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、自然物や身近な素材を使った探究活動を続けていきたい。

## 5. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・広いテラスの中でもすのこや芝生のような、感触の違う区切りのある場所は、子どもの居場所となり、安心感を与え、そこを拠点として落ち着いて遊ぶことができる。
- ・陽だまりの温かさ、野菜の色、匂い、感触など、五感を活用して季節や自然を感じ取ってじっくりと遊んでいる。子どもの感受性の豊さに気づかされた。
- ・日差しによってできた、すのこの影や、自分の影に興味を持ち自然光がもたらす現象への好奇心を育むきっかけとなった。